

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2012年11月13日
【四半期会計期間】	第59期第2四半期（自 2012年7月1日 至 2012年9月30日）
【会社名】	株式会社W D I
【英訳名】	W D I Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役 清水 謙
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03（3404）3704（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03（3404）3704（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第58期 第2四半期連結 累計期間	第59期 第2四半期連結 累計期間	第58期
会計期間	自 2011年4月1日 至 2011年9月30日	自 2012年4月1日 至 2012年9月30日	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日
売上高(千円)	7,828,457	8,605,046	16,091,889
経常利益(千円)	173,199	56,373	443,018
四半期(当期)純利益(は損失) (千円)	56,704	9,944	94,248
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	70,098	20,747	102,174
純資産額(千円)	1,282,972	1,284,043	1,313,967
総資産額(千円)	8,622,102	8,465,790	7,939,632
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (は損失)(円)	8.96	1.57	14.89
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	14.4	14.3	15.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	561,957	279,940	1,210,766
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	72,486	499,765	564,650
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	925,312	597,239	95,394
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	2,388,627	1,917,384	1,606,642

回次	第58期 第2四半期連結 会計期間	第59期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2011年7月1日 至 2011年9月30日	自 2012年7月1日 至 2012年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	6.48	3.18

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第58期及び第58期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため、第59期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は下記のとおりです。

フランチャイザーとの契約について

契約名	契約年月日	契約期間	契約相手先	契約内容
サラベス				
ライセンス契約書	2012年7月27日	2012年7月27日より10年間、更に5年間延長できる。	Sarabeth's Kitchen, Inc. (米国)	当社グループが日本において「サラベス」レストランを運営する独占的ライセンス権の付与と、運営上の義務を規定する。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要から緩やかながら回復の兆しは見られたものの、欧州の金融危機問題や中国など新興国経済の減速による世界経済の下振れ懸念等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、消費者の外食頻度には持ち直しの傾向が見られるものの、生活防衛意識が高いこと等により、業界内の競争環境は引続き厳しい状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、2013年度を最終年度とする中期経営計画「WDI Hospitality 40years」で掲げた目標の達成に向けて、既存店舗への改装投資や直営での新規出店をはじめとした諸施策への取組みを推進しております。

「WDI Hospitality 40years」では「WDI Challenge 2010」によって創出した事業基盤を活用して、収益性を維持しながら質の高いサービス、商品を提供することでお客様の潜在的、顕在的ニーズを的確に満たし、長期的なグローバル事業展開を視野に入れたグループ体制の構築を目的としております。

新規出店については、日本国内において、当社グループ初となるサービスエリアへの進出を、新東名高速道路サービスエリア「ネオパーサ浜松（上り線）」フードコート内に「はまきた食堂」「焼きスパ&カレー パルボア」「中華の鉄人」の3業態で行いました。さらに、新業態として「エッグスンシングス」を横浜山下公園に1店舗、湘南江の島に1店舗の計2店舗出店いたしました。また、「カプリチョーザ」をミュージアム高槻に1店舗出店いたしました。

フランチャイズ展開におきましては、日本国内において、「カプリチョーザ」を1店舗出店いたしました。海外では、「カプリチョーザ」をシンガポールに1店舗、台湾に1店舗の計2店舗出店いたしました。

業績につきましては、以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,605百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は、147百万円（前年同期比48.0%減）、経常利益は、為替差損50百万円を計上したこと等により56百万円（前年同期比67.5%減）、四半期純損失は、店舗閉鎖に係る損失27百万円を計上したこと等により9百万円（前年同期は四半期純利益56百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

国内では、売上高は6,474百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は258百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

北米

米国では、売上高は1,409百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は1百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は593百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は81百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

アジア

アジアでは、売上高は152百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は17百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

## （２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,917百万円となり、前年同四半期連結累計期間より471百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は279百万円（前年同期は561百万円の増加）となりました。これは主に減価償却費の計上270百万円及び為替差損51百万円があった一方で、法人税等の支払が112百万円あったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は499百万円（前年同期は72百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が478百万円あったことによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は597百万円（前年同期は925百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入が1,800百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出1,052百万円があったことによるものであります。

## （３）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## （４）研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,127,680
計	22,127,680

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2012年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2012年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,331,920	6,331,920	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,331,920	6,331,920	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2012年7月1日～ 2012年9月30日	-	6,331,920	-	585,558	-	588,655

( 6 ) 【大株主の状況】

2012年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
清水 洋二	東京都港区	1,652,240	26.09
Soken Corp.	東京都港区三田2-3-34-401	1,512,000	23.87
WDI従業員持株会	東京都港区六本木5-5-1	279,140	4.40
清水 謙	東京都港区	201,800	3.18
清水 宏子	東京都港区	72,300	1.14
サントリーピア&スピリッツ株式会社	東京都港区台場2-3-3	60,000	0.94
清水 壮一郎	東京都港区	46,000	0.72
麒麟麦酒株式会社	東京都中央区新川2-10-1	40,000	0.63
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	39,800	0.62
孫 正義	東京都港区	36,000	0.56
計	-	3,939,280	62.21

( 7 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2012年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,330,300	63,303	-
単元未満株式	普通株式 1,320	-	-
発行済株式総数	6,331,920	-	-
総株主の議決権	-	63,303	-

【自己株式等】

2012年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社W D I	東京都港区六本木 五丁目5番1号	300	-	300	0.00
計	-	300	-	300	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（2012年7月1日から2012年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（2012年4月1日から2012年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,606,642	1,917,384
売掛金	228,256	213,881
たな卸資産	241,296	257,104
預け金	458,439	399,671
繰延税金資産	224,786	261,757
その他	269,645	379,535
貸倒引当金	37,118	37,720
流動資産合計	2,991,948	3,391,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,298,029	5,521,644
減価償却累計額	3,278,058	3,309,427
建物及び構築物(純額)	2,019,970	2,212,217
工具、器具及び備品	1,585,198	1,732,745
減価償却累計額	1,208,586	1,277,062
工具、器具及び備品(純額)	376,612	455,683
土地	232,941	232,941
建設仮勘定	89,646	11,880
その他	33,916	34,083
減価償却累計額	12,069	16,698
その他(純額)	21,847	17,385
有形固定資産合計	2,741,018	2,930,107
無形固定資産		
その他	237,504	249,778
無形固定資産合計	237,504	249,778
投資その他の資産		
長期貸付金	85,147	84,701
敷金及び保証金	1,451,477	1,387,029
繰延税金資産	303,110	302,559
その他	129,748	120,320
貸倒引当金	323	320
投資その他の資産合計	1,969,161	1,894,290
固定資産合計	4,947,683	5,074,177
資産合計	7,939,632	8,465,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	402,004	386,496
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	2 1,817,196	2 1,868,172
未払金	615,551	570,341
未払法人税等	70,762	32,082
賞与引当金	199,269	206,527
販売促進引当金	20,400	22,300
地震災害損失引当金	800	-
資産除去債務	42,849	10,540
その他	466,071	512,215
流動負債合計	3,734,905	3,608,676
固定負債		
長期借入金	2 2,530,590	2 3,225,500
繰延税金負債	6,264	155
退職給付引当金	3,940	3,866
その他	349,964	343,548
固定負債合計	2,890,759	3,573,070
負債合計	6,625,664	7,181,747
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	585,558	585,558
資本剰余金	588,655	588,655
利益剰余金	395,653	335,056
自己株式	196	215
株主資本合計	1,569,670	1,509,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,849	3,613
為替換算調整勘定	307,429	295,765
その他の包括利益累計額合計	311,279	299,379
少数株主持分	55,576	74,368
純資産合計	1,313,967	1,284,043
負債純資産合計	7,939,632	8,465,790

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)
売上高	7,828,457	8,605,046
売上原価	1,945,803	2,170,707
売上総利益	5,882,653	6,434,338
販売費及び一般管理費	1 5,600,035	1 6,287,250
営業利益	282,618	147,088
営業外収益		
受取利息	3,727	3,308
還付加算金	5,886	-
受取補償金	5,487	794
過年度店舗閉鎖損失見積差額	-	4,686
地震災害損失引当金戻入額	6,142	800
その他	6,003	4,374
営業外収益合計	27,246	13,964
営業外費用		
支払利息	51,262	41,595
為替差損	71,660	50,714
その他	13,741	12,368
営業外費用合計	136,665	104,679
経常利益	173,199	56,373
特別利益		
固定資産売却益	645	12,195
店舗閉鎖損失戻入額	12,850	-
特別利益合計	13,495	12,195
特別損失		
固定資産売却損	2,255	2,193
固定資産除却損	222	13,318
関係会社株式売却損	1,935	-
減損損失	-	4,318
店舗閉鎖損失	-	10,000
為替換算調整勘定取崩額	2 15,085	-
特別損失合計	19,499	29,830
税金等調整前四半期純利益	167,195	38,738
法人税等	105,148	30,500
少数株主損益調整前四半期純利益	62,047	8,238
少数株主利益	5,343	18,182
四半期純利益又は四半期純損失( )	56,704	9,944

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	62,047	8,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金(税引前)	416	380
持分変動差額	2,271	-
為替換算調整勘定(税引前)	5,532	12,274
その他の包括利益に係る税効果額	170	144
その他の包括利益合計	8,050	12,509
四半期包括利益	70,098	20,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,517	1,955
少数株主に係る四半期包括利益	7,580	18,792

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	167,195	38,738
減価償却費	268,470	270,894
賞与引当金の増減額 (は減少)	1,812	7,258
貸倒引当金の増減額 (は減少)	3	132
受取利息	3,727	3,308
支払利息	51,262	41,595
為替差損益 (は益)	71,968	51,088
出資金運用損益 (は益)	239	529
有形固定資産売却損益 (は益)	1,610	10,001
店舗閉鎖損失	-	10,000
関係会社株式売却損益 (は益)	1,935	-
固定資産除却損	222	13,318
減損損失	-	4,318
その他の特別損益 (は益)	2,235	-
売上債権の増減額 (は増加)	30,559	15,060
たな卸資産の増減額 (は増加)	5,057	14,516
その他の流動資産の増減額 (は増加)	125,052	31,275
仕入債務の増減額 (は減少)	51,815	17,847
その他の流動負債の増減額 (は減少)	70,017	53,165
その他の固定負債の増減額 (は減少)	28,380	7,458
その他	50,752	14,724
小計	455,373	436,152
利息の受取額	1,135	633
利息の支払額	56,278	45,763
法人税等の支払額	49,755	112,823
法人税等の還付額	211,482	1,741
営業活動によるキャッシュ・フロー	561,957	279,940
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	80,371	478,888
有形固定資産の売却による収入	9,420	2,657
固定資産の除却による支出	380	33,800
無形固定資産の取得による支出	11,549	37,979
無形固定資産の売却による収入	-	9,537
関係会社株式の売却による収入	3,174	-
長期貸付けによる支出	1,000	-
長期貸付金の回収による収入	1,976	1,986
定期預金の払戻による収入	6,376	-
敷金及び保証金の差入による支出	23,433	63,497
敷金及び保証金の回収による収入	30,900	127,137
その他	7,599	26,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	72,486	499,765

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	400,000	111,922
短期借入金の返済による支出	300,000	211,922
長期借入れによる収入	1,950,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	1,088,244	1,052,974
自己株式の取得による支出	-	19
配当金の支払額	36,443	49,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	925,312	597,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,954	66,671
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,341,828	310,742
現金及び現金同等物の期首残高	1,046,799	1,606,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,388,627	1,917,384

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間において新たに設立いたしました味都特(成都)餐飲管理有限公司を連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において清算いたしましたWDI Europe H Ltd.を連結の範囲から除外しております。

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,722千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産

たな卸資産の内訳は次の通りです。

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
商品	79,270千円	90,496千円
原材料及び貯蔵品	162,025	166,607
計	241,296	257,104

2 財務制限条項

前連結会計年度(2012年3月31日)

当社グループが締結しているシンジケートローン契約及び一部の金銭消費貸借契約(当連結会計年度末借入金残高合計1,279,782千円)には、当連結会計年度末現在、以下の財務制限条項が付されております。

平成21年3月期末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を6億円以上に維持し、平成22年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を、( )6億円、若しくは、( )直近の事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%、のいずれか大きい金額以上に維持すること。

平成22年3月期の第2四半期会計期間末日(平成21年9月末日)及びそれ以降の各事業年度末日及び各第2四半期会計期間の末日における報告書等に記載される連結損益計算書における営業損益及び経常損益をそれぞれ損失としないこと。

当第2四半期連結会計期間(2012年9月30日)

当社グループが締結しているシンジケートローン契約及び一部の金銭消費貸借契約(当第2四半期連結会計期間末借入金残高合計654,500千円)には、当第2四半期連結会計期間末現在、以下の財務制限条項が付されております。

平成21年3月期末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を6億円以上に維持し、平成22年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を、( )6億円、若しくは、( )直近の事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%、のいずれか大きい金額以上に維持すること。

平成22年3月期の第2四半期会計期間末日(平成21年9月末日)及びそれ以降の各事業年度末日及び各第2四半期会計期間の末日における報告書等に記載される連結損益計算書における営業損益及び経常損益をそれぞれ損失としないこと。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)
給与手当及び雑給	2,221,649千円	2,426,028千円
賃借料	833,524	924,515
消耗品費	297,091	360,446
賞与及び賞与引当金繰入額	188,560	219,542

2 為替換算調整勘定取崩額

前第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

これは、海外連結子会社の有償減資に伴い、同社の為替換算調整勘定を取り崩したことにより発生した損失であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)
現金及び預金勘定	2,388,627千円	1,917,384千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	2,388,627	1,917,384

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2011年6月28日 定時株主総会	普通株式	37,989	利益剰余金	6	2011年3月31日	2011年6月29日

当第2四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2012年6月27日 定時株主総会	普通株式	50,652	利益剰余金	8	2012年3月31日	2012年6月28日

(注) 1株当たり配当額には、外食事業参入40周年の記念配当2円が含まれております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	ミクロネシア	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,914,416	1,212,104	563,554	138,382	7,828,457	-	7,828,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,553	7,500	-	-	24,053	-	24,053
計	5,930,969	1,219,604	563,554	138,382	7,852,511	-	7,852,511
セグメント利益 (は損失)	428,823	8,901	62,062	20,301	502,286	-	502,286

(注)「その他」には報告セグメントに含まれないヨーロッパの現地法人であるWDI Europe H Ltd.が含まれております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	502,286
全社費用(注)	220,468
その他の調整額	800
四半期連結損益計算書の営業利益	282,618

(注)全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	ミクロネシア	アジア (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,456,366	1,402,491	593,676	152,511	8,605,046	-	8,605,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,914	7,500	-	-	25,414	-	25,414
計	6,474,280	1,409,991	593,676	152,511	8,630,460	-	8,630,460
セグメント利益	258,490	1,093	81,130	17,942	358,656	-	358,656

(注) 1. 「アジア」には当第2四半期連結会計期間にて新たに設立しました味都特(成都)餐飲管理有限公司が含まれております。

2. 「その他」に含まれておりましたWDI Europe H Ltd.は当第2四半期連結会計期間にて清算しました。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	358,656
全社費用(注)	212,369
その他の調整額	801
四半期連結損益計算書の営業利益	147,088

(注) 全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、閉鎖に伴う資産の除却が見込まれる店舗が存在したため、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において4,318千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(は損失)	8.96円	1.57円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(は損失)(千円)	56,704	9,944
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(は損失) (千円)	56,704	9,944
普通株式の期中平均株式数(株)	6,331,576	6,331,558

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため、当第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月7日

株式会社W D I  
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	和田 芳幸 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	石原 鉄也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社W D Iの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社W D I及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。